

市教組 発 第45号  
2024年12月12日

各分会委員長 様

大阪市教職員組合  
執行委員長 松岡 誠

中教審答申（教職調整額・新たな職 他）に関する学習会の開催について

平素は市教組の活動にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、中央教育審議会は、8月27日、「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）を文部科学大臣に提出しました。

その内容は、子どもたちが抱える課題が複雑化・困難化するとともに、保護者や地域からの学校や教師に対する期待が高まっていることから、結果として業務が積み上がるなど、教師を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるとしています。2019年1月の答申では、教師を取り巻く環境整備として、「学校・教師が担う業務に係る3分類」、「教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を策定しています。

今回の答申では、「標準授業時数を大幅に上回っている学校への教育課程編成の見直し」、「教職の重要性を踏まえた教師の処遇改善」、「新たな職に対応した級の創設」等が提言されています。

これらについて、標記の学習会を下記のとおり開催いたしますので、学期始めお忙しい時期ではありますが、多くの組合員の参加を要請します。

#### 記

- ◇ 日 時： 1月 8日（水） 18：30～
- ◇ 場 所： 大阪市教育会館 東館401号室
- ◇ 内 容： 「中教審答申の解説と今後の動きについて」
- ◇ 講 師 野川孝三さん（教育文化総合研究所）

以上